

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	第二東海自動車道（海老名南J～秦野）
事業主体	中日本高速道路株式会社

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	費用便益比（B / C）= 1.8 （経済的純現在価値（B-C）= 4,460億円、経済的内部収益率（EIRR）= 6.6%）

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	推計年度（H42）削減量 33（百万人・時間/年） 削減率 0.42% 定量的評価指標の算出方法（案）準用
		現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	現東名利用の高速バス全般
		新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	対象港湾：清水港（全線開通時） 新たに60分以内に清水港へ到達可能となる人口・面積（1kmメッシュ）：約11万人・約180km ²
		農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	静岡県：みかん（全国の約13%収穫・H17）・お茶（全国の約44%収穫・H17）
		現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
1. 活力	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		中心市街地内で行う事業である	

		幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築		高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		地域高規格道路の位置づけあり	
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	東西交流の拠点を結ぶルートとなる
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		現道等における交通不能区間を解消する	
		現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体名：東京都・名古屋市 改善見込み：東京都(日本橋)～名古屋市(名古屋城)、5時間55分 5時間18分：37分短縮(全線開通時)
個性ある地域の形成		鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		主要な観光地へのアクセス向上が期待される	丹沢大山国定公園 等
		特別立法に基づく事業である	
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2.暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	三次医療施設(救急救命センター：H19.3時点)：愛知県・静岡県・山梨県・神奈川県(30箇所)(全線開通時) 新たに30分以内に三次医療施設へ到達可能となる人口・面積(1kmメッシュ)：約8万人・約90km2 松田町役場～東海大学医学部付属病院、45分 43分、2分短縮	
3.安全	安全な生活環境の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	

		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	現東名道・国道246号（神奈川県地域防災計画） 「東海地震対策大綱」（中央防災会議：会長内閣総理大臣）において、「地震に強い交通ネットワーク」として位置付け
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路路線名：現東名、代替する区間（厚木IC～秦野中井IC）
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	現東名道・国道246号等の代替路線
		現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	事前通行規制区間：国道246号（海老名市～松田町）にはない 異常気象（台風等）による通行止め件数：現東名道（厚木IC～秦野中井IC、H19年：1件）
		避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：11.7万t/年
	生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのNO2排出削減率	排出削減量：112.1t/年、排出削減率：0.051%削減
		現道等における自動車からのSPM排出削減率	排出削減量：9.8t/年、排出削減率：0.086%削減
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	神奈川県『かながわのみちづくり計画』
		関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	圏央道（海老名南JCTで接続）、厚木秦野道路（伊勢原北ICで接続）
		他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・その他の別
第二東海自動車道	海老名南JCT～秦野	21km	高速自動車国道	-

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
44,100～56,500	4	中日本高速道路株式会社

費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成20年度		
単純合計	6,989億円	785億円	7,774億円
うち残事業分	6,169億円	785億円	6,954億円
基準年における 現在価値 (C)	5,568億円	213億円	5,781億円
うち残事業分	4,660億円	213億円	4,873億円

便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成20年度			
供用年	平成32年度末			
単年便益 (初年便益)	731億円	46億円	11億円	787億円
基準年における 現在価値 (B)	9,504億円	599億円	137億円	10,241億円
うち残事業分	9,504億円	599億円	137億円	10,241億円

結 果

費用便益比（事業全体）	1.8
経済的純現在価値（事業全体）	4,460億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.6%
費用便益比（残事業）	2.1
経済的純現在価値（残事業）	5,368億円
経済的内部収益率（残事業）	7.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

感 度 分 析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	44,100 ~ 56,500	± 10%	1.9 ~ 2.3
事業費	4,873億円	± 10%	1.9 ~ 2.3
事業期間	12年	± 1年	2.0 ~ 2.3

交通状況の変化

様式 - 3

事業名：第二東海自動車道（海老名南JCT～秦野）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設道路 (海老名南JCT～秦野)：21km	交通量 ¹	[台/日]	0	57,500	
	走行時間 ²	[分]	0	16	
	走行時間費用 ³	[億円/年]	0	162	
主な周辺道路 ⁴	東名高速:36km	交通量 ¹	[台/日]	116,300	81,000
		走行時間 ²	[分]	29	28
		走行時間費用 ³	[億円/年]	664	528
	国道246号:30km	交通量 ¹	[台/日]	32,500	30,300
		走行時間 ²	[分]	67	65
		走行時間費用 ³	[億円/年]	377	353
	国道1号:27km	交通量 ¹	[台/日]	26,600	24,800
		走行時間 ²	[分]	56	56
		走行時間費用 ³	[億円/年]	156	152
その他道路合計:403046km	走行時間費用 ³	[億円/年]	538,192	537,443	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：403160km	走行時間短縮便益	[億円/年]	539,389	538,638	751

- 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

費用便益分析の条件

事業名：第二東海自動車道(海老名南JCT～秦野)

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	
	その他	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成20年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	(2030)
	複数時点での推計	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	有 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	(H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	
	その他()	
開発交通量の考慮	無	
	有	
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q - V式を用いた配分	
	転換率式を用いた配分	
	Q - V式と転換率式の併用による配分	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
	簡易手法	
	簡易手法の採択理由 小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	
	最終配分の速度 採用理由を記載 配分条件であるQV式に基づく配分交通量(日交通量)の走行速度を採用	
	その他()	
	その他()	

交通流推計

(3)

		項目	チェック欄	
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		
		考慮する		
		考慮する場合のみ	面的に考慮	
			対象路線のみ考慮	
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		
		考慮する		
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない		
		考慮する		
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定			
	その他 ()			
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用			
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用			
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮			
	中央分離帯の有無を考慮しない			
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない			
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額除く)

箇所名:第二東海自動車道(海老名南JCT~秦野)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
- 23年目	H 10	1.4802	112.1	14	18		
- 22年目	H 11	1.4233	110.5	66	85		
- 21年目	H 12	1.3686	108.7	124	157		
- 20年目	H 13	1.3159	107.3	47	58		
- 19年目	H 14	1.2653	105.3	37	45		
- 18年目	H 15	1.2167	104.0	73	85		
- 17年目	H 16	1.1699	102.9	161	183		
- 16年目	H 17	1.1249	101.6	60	67		
- 15年目	H 18	1.0816	100.9	65	70		
- 14年目	H 19	1.0400	100.0	89	93		
- 13年目	H 20	1.0000	100.0	82	82		
- 12年目	H 21	0.9615	100.0	308	296		
- 11年目	H 22	0.9246	100.0	407	376		
- 10年目	H 23	0.8890	100.0	413	367		
- 9年目	H 24	0.8548	100.0	433	370		
- 8年目	H 25	0.8219	100.0	606	498		
- 7年目	H 26	0.7903	100.0	641	506		
- 6年目	H 27	0.7599	100.0	725	551		
- 5年目	H 28	0.7307	100.0	706	516		
- 4年目	H 29	0.7026	100.0	518	364		
- 3年目	H 30	0.6756	100.0	552	373		
- 2年目	H 31	0.6496	100.0	312	202		
- 1年目	H 32	0.6246	100.0	550	343		
供用開始年次	H 33	0.6006	100.0			15	9
1年目	H 34	0.5775	100.0			15	9
2年目	H 35	0.5553	100.0			15	8
3年目	H 36	0.5339	100.0			16	8
4年目	H 37	0.5134	100.0			16	8
5年目	H 38	0.4936	100.0			16	8
6年目	H 39	0.4746	100.0			16	7
7年目	H 40	0.4564	100.0			16	7
8年目	H 41	0.4388	100.0			16	7
9年目	H 42	0.4220	100.0			16	7
10年目	H 43	0.4057	100.0			16	7
11年目	H 44	0.3901	100.0			16	6
12年目	H 45	0.3751	100.0			16	6
13年目	H 46	0.3607	100.0			16	6
14年目	H 47	0.3468	100.0			17	6
15年目	H 48	0.3335	100.0			17	6
16年目	H 49	0.3207	100.0			16	5
17年目	H 50	0.3083	100.0			16	5
18年目	H 51	0.2965	100.0			16	5
19年目	H 52	0.2851	100.0			16	5
20年目	H 53	0.2741	100.0			16	4
21年目	H 54	0.2636	100.0			16	4
22年目	H 55	0.2534	100.0			16	4
23年目	H 56	0.2437	100.0			16	4
24年目	H 57	0.2343	100.0			16	4
25年目	H 58	0.2253	100.0			16	4
26年目	H 59	0.2166	100.0			16	3
27年目	H 60	0.2083	100.0			16	3
28年目	H 61	0.2003	100.0			16	3
29年目	H 62	0.1926	100.0			17	3
30年目	H 63	0.1852	100.0			16	3
31年目	H 64	0.1780	100.0			16	3
32年目	H 65	0.1712	100.0			16	3
33年目	H 66	0.1646	100.0			16	3
34年目	H 67	0.1583	100.0			15	2
35年目	H 68	0.1522	100.0			15	2
36年目	H 69	0.1463	100.0			15	2
37年目	H 70	0.1407	100.0			15	2
38年目	H 71	0.1353	100.0			15	2
39年目	H 72	0.1301	100.0			15	2
40年目	H 73	0.1251	100.0			15	2
41年目	H 74	0.1203	100.0			15	2
42年目	H 75	0.1157	100.0			15	2
43年目	H 76	0.1112	100.0			15	2
44年目	H 77	0.1069	100.0			15	2
45年目	H 78	0.1028	100.0			15	2
46年目	H 79	0.0989	100.0			15	1
47年目	H 80	0.0951	100.0			14	1
48年目	H 81	0.0914	100.0			14	1
49年目	H 82	0.0879	100.0	-1,566	-138	14	1
合計				5,423	5,568	785	213
単純事業費計				6,989			

注)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額除く)

箇所名:第二東海自動車道(海老名南JCT~秦野)

年次	年度	割引率	GDP デフレ-タ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				-	21	-	
- 23年目	H 10	1.4802	112.1				
- 22年目	H 11	1.4233	110.5				
- 21年目	H 12	1.3686	108.7				
- 20年目	H 13	1.3159	107.3				
- 19年目	H 14	1.2653	105.3				
- 18年目	H 15	1.2167	104.0				
- 17年目	H 16	1.1699	102.9				
- 16年目	H 17	1.1249	101.6				
- 15年目	H 18	1.0816	100.9				
- 14年目	H 19	1.0400	100.0				
- 13年目	H 20	1.0000	100.0				
- 12年目	H 21	0.9615	100.0	308	296		
- 11年目	H 22	0.9246	100.0	407	376		
- 10年目	H 23	0.8890	100.0	413	367		
- 9年目	H 24	0.8548	100.0	433	370		
- 8年目	H 25	0.8219	100.0	606	498		
- 7年目	H 26	0.7903	100.0	641	506		
- 6年目	H 27	0.7599	100.0	725	551		
- 5年目	H 28	0.7307	100.0	706	516		
- 4年目	H 29	0.7026	100.0	518	364		
- 3年目	H 30	0.6756	100.0	552	373		
- 2年目	H 31	0.6496	100.0	312	202		
- 1年目	H 32	0.6246	100.0	550	343		
供用開始年次	H 33	0.6006	100.0			15	9
1年目	H 34	0.5775	100.0			15	9
2年目	H 35	0.5553	100.0			15	8
3年目	H 36	0.5339	100.0			16	8
4年目	H 37	0.5134	100.0			16	8
5年目	H 38	0.4936	100.0			16	8
6年目	H 39	0.4746	100.0			16	7
7年目	H 40	0.4564	100.0			16	7
8年目	H 41	0.4388	100.0			16	7
9年目	H 42	0.4220	100.0			16	7
10年目	H 43	0.4057	100.0			16	7
11年目	H 44	0.3901	100.0			16	6
12年目	H 45	0.3751	100.0			16	6
13年目	H 46	0.3607	100.0			16	6
14年目	H 47	0.3468	100.0			17	6
15年目	H 48	0.3335	100.0			17	6
16年目	H 49	0.3207	100.0			16	5
17年目	H 50	0.3083	100.0			16	5
18年目	H 51	0.2965	100.0			16	5
19年目	H 52	0.2851	100.0			16	5
20年目	H 53	0.2741	100.0			16	4
21年目	H 54	0.2636	100.0			16	4
22年目	H 55	0.2534	100.0			16	4
23年目	H 56	0.2437	100.0			16	4
24年目	H 57	0.2343	100.0			16	4
25年目	H 58	0.2253	100.0			16	4
26年目	H 59	0.2166	100.0			16	3
27年目	H 60	0.2083	100.0			16	3
28年目	H 61	0.2003	100.0			16	3
29年目	H 62	0.1926	100.0			17	3
30年目	H 63	0.1852	100.0			16	3
31年目	H 64	0.1780	100.0			16	3
32年目	H 65	0.1712	100.0			16	3
33年目	H 66	0.1646	100.0			16	3
34年目	H 67	0.1583	100.0			15	2
35年目	H 68	0.1522	100.0			15	2
36年目	H 69	0.1463	100.0			15	2
37年目	H 70	0.1407	100.0			15	2
38年目	H 71	0.1353	100.0			15	2
39年目	H 72	0.1301	100.0			15	2
40年目	H 73	0.1251	100.0			15	2
41年目	H 74	0.1203	100.0			15	2
42年目	H 75	0.1157	100.0			15	2
43年目	H 76	0.1112	100.0			15	2
44年目	H 77	0.1069	100.0			15	2
45年目	H 78	0.1028	100.0			15	2
46年目	H 79	0.0989	100.0			15	1
47年目	H 80	0.0951	100.0			14	1
48年目	H 81	0.0914	100.0			14	1
49年目	H 82	0.0879	100.0	-1,174	-103	14	1
合計				4,995	4,660	785	213
単純事業費計				6,169			

注)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:第二東海自動車道(海老名南JCT~秦野)

年次	年度 (基準年 H 20)	総走行台数の年次別伸び率 (関東臨海ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計(億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	費用合計 (~)	現在価値 割引率4%	
供用開始年次	H 33	1.00222	1.00391	1.00277	0.6006	100.0	382	71	278	731	439	21	3	22	46	27	11	6	787	473
1年目	H 34	1.00222	1.00389	1.00276	0.5775	100.0	383	71	279	733	423	21	3	22	46	26	11	6	789	456
2年目	H 35	1.00221	1.00388	1.00275	0.5553	100.0	384	72	280	735	408	21	3	22	46	26	11	6	792	440
3年目	H 36	1.00221	1.00386	1.00275	0.5339	100.0	385	72	281	737	394	21	3	22	46	25	11	6	794	424
4年目	H 37	1.00220	1.00385	1.00274	0.5134	100.0	385	72	282	739	380	21	3	22	46	24	11	6	797	409
5年目	H 38	1.00220	1.00383	1.00273	0.4936	100.0	386	72	283	742	366	21	3	22	46	23	11	5	799	394
6年目	H 39	1.00219	1.00382	1.00272	0.4746	100.0	387	73	284	744	353	21	3	22	47	22	11	5	801	380
7年目	H 40	1.00219	1.00380	1.00272	0.4564	100.0	388	73	285	746	341	22	3	22	47	21	11	5	804	367
8年目	H 41	1.00218	1.00379	1.00271	0.4388	100.0	389	73	286	748	328	22	3	22	47	21	11	5	806	354
9年目	H 42	0.98919	1.00069	0.99297	0.4220	100.0	390	74	287	751	317	22	3	23	47	20	11	5	809	341
10年目	H 43	0.98907	1.00069	0.99292	0.4057	100.0	385	74	287	747	303	21	3	23	47	19	11	4	804	326
11年目	H 44	0.98895	1.00069	0.99287	0.3901	100.0	381	74	288	743	290	21	3	23	47	18	11	4	800	312
12年目	H 45	0.98882	1.00069	0.99281	0.3751	100.0	377	74	288	739	277	21	3	23	46	17	11	4	796	298
13年目	H 46	0.98870	1.00069	0.99276	0.3607	100.0	373	74	288	735	265	21	3	23	46	17	11	4	792	286
14年目	H 47	0.98857	1.00069	0.99271	0.3468	100.0	369	74	288	731	253	20	3	23	46	16	11	4	787	273
15年目	H 48	0.98844	1.00069	0.99266	0.3335	100.0	364	74	288	727	242	20	3	23	46	15	11	4	783	261
16年目	H 49	0.98830	1.00069	0.99260	0.3207	100.0	360	74	289	723	232	20	3	23	45	15	11	3	779	250
17年目	H 50	0.98816	1.00069	0.99255	0.3083	100.0	356	74	289	719	222	20	3	23	45	14	10	3	774	239
18年目	H 51	0.98802	1.00069	0.99249	0.2965	100.0	352	74	289	715	212	20	3	23	45	13	10	3	770	228
19年目	H 52	0.98788	1.00069	0.99243	0.2851	100.0	348	74	289	711	203	19	3	23	45	13	10	3	766	218
20年目	H 53	0.98773	1.00069	0.99238	0.2741	100.0	343	74	289	707	194	19	3	23	45	12	10	3	762	209
21年目	H 54	0.98757	1.00069	0.99232	0.2636	100.0	339	74	290	703	185	19	3	23	44	12	10	3	757	200
22年目	H 55	0.98742	1.00069	0.99226	0.2534	100.0	335	74	290	699	177	19	3	23	44	11	10	3	753	191
23年目	H 56	0.98726	1.00069	0.99220	0.2437	100.0	331	74	290	695	169	18	3	23	44	11	10	2	749	183
24年目	H 57	0.98709	1.00068	0.99214	0.2343	100.0	326	74	290	691	162	18	3	23	44	10	10	2	745	174
25年目	H 58	0.98692	1.00068	0.99207	0.2253	100.0	322	74	290	687	155	18	3	23	44	10	10	2	740	167
26年目	H 59	0.98675	1.00068	0.99201	0.2166	100.0	318	74	291	683	148	18	3	23	43	9	10	2	736	159
27年目	H 60	0.98657	1.00068	0.99195	0.2083	100.0	314	74	291	679	141	17	3	23	43	9	10	2	732	152
28年目	H 61	0.98639	1.00068	0.99188	0.2003	100.0	310	75	291	675	135	17	3	23	43	9	10	2	728	146
29年目	H 62	-	-	-	0.1926	100.0	305	75	291	671	129	17	3	23	43	8	9	2	723	139
30年目	H 63	-	-	-	0.1852	100.0	301	75	291	667	124	17	3	23	42	8	9	2	719	133
31年目	H 64	-	-	-	0.1780	100.0	297	75	292	663	118	16	3	23	42	8	9	2	715	127
32年目	H 65	-	-	-	0.1712	100.0	293	75	292	659	113	16	3	23	42	7	9	2	711	122
33年目	H 66	-	-	-	0.1646	100.0	289	75	292	655	108	16	3	23	42	7	9	2	706	116
34年目	H 67	-	-	-	0.1583	100.0	284	75	292	651	103	16	3	23	42	7	9	1	702	111
35年目	H 68	-	-	-	0.1522	100.0	280	75	292	647	99	16	3	23	41	6	9	1	698	106
36年目	H 69	-	-	-	0.1463	100.0	276	75	293	644	94	15	3	23	41	6	9	1	694	101
37年目	H 70	-	-	-	0.1407	100.0	272	75	293	640	90	15	3	23	41	6	9	1	689	97
38年目	H 71	-	-	-	0.1353	100.0	267	75	293	636	86	15	3	23	41	6	9	1	685	93
39年目	H 72	-	-	-	0.1301	100.0	263	75	293	632	82	15	3	23	40	5	9	1	681	89
40年目	H 73	-	-	-	0.1251	100.0	259	75	293	628	79	14	3	23	40	5	9	1	677	85
41年目	H 74	-	-	-	0.1203	100.0	255	75	294	624	75	14	3	23	40	5	9	1	672	81
42年目	H 75	-	-	-	0.1157	100.0	251	75	294	620	72	14	3	23	40	5	8	1	668	77
43年目	H 76	-	-	-	0.1112	100.0	246	75	294	616	68	14	3	23	40	4	8	1	664	74
44年目	H 77	-	-	-	0.1069	100.0	242	75	294	612	65	13	3	23	39	4	8	1	660	71
45年目	H 78	-	-	-	0.1028	100.0	238	75	294	608	62	13	3	23	39	4	8	1	655	67
46年目	H 79	-	-	-	0.0989	100.0	234	75	295	604	60	13	3	23	39	4	8	1	651	64
47年目	H 80	-	-	-	0.0951	100.0	230	75	295	600	57	13	3	23	39	4	8	1	647	62
48年目	H 81	-	-	-	0.0914	100.0	225	76	295	596	54	13	3	23	39	4	8	1	642	59
49年目	H 82	-	-	-	0.0879	100.0	221	76	295	592	52	12	3	23	38	3	8	1	638	56
合計(H33~H82)							15,991	3,707	14,479	34,177	9,504	887	143	1,134	2,164	599	487	137	36,829	10,241

便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名:第二東海自動車道(海老名南JCT~秦野)

年次	年度 (基準年 H 20)	総走行台数の年次別伸び率 (関東臨海ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計(億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	費用合計 (~)	現在価値 割引率4%	
供用開始年次	H 33	1.00222	1.00391	1.00277	0.6006	100.0	382	71	278	731	439	21	3	22	46	27	11	6	787	473
1年目	H 34	1.00222	1.00389	1.00276	0.5775	100.0	383	71	279	733	423	21	3	22	46	26	11	6	789	456
2年目	H 35	1.00221	1.00388	1.00275	0.5553	100.0	384	72	280	735	408	21	3	22	46	26	11	6	792	440
3年目	H 36	1.00221	1.00386	1.00275	0.5339	100.0	385	72	281	737	394	21	3	22	46	25	11	6	794	424
4年目	H 37	1.00220	1.00385	1.00274	0.5134	100.0	385	72	282	739	380	21	3	22	46	24	11	6	797	409
5年目	H 38	1.00220	1.00383	1.00273	0.4936	100.0	386	72	283	742	366	21	3	22	46	23	11	5	799	394
6年目	H 39	1.00219	1.00382	1.00272	0.4746	100.0	387	73	284	744	353	21	3	22	47	22	11	5	801	380
7年目	H 40	1.00219	1.00380	1.00272	0.4564	100.0	388	73	285	746	341	22	3	22	47	21	11	5	804	367
8年目	H 41	1.00218	1.00379	1.00271	0.4388	100.0	389	73	286	748	328	22	3	22	47	21	11	5	806	354
9年目	H 42	0.98919	1.00069	0.99297	0.4220	100.0	390	74	287	751	317	22	3	23	47	20	11	5	809	341
10年目	H 43	0.98907	1.00069	0.99292	0.4057	100.0	385	74	287	747	303	21	3	23	47	19	11	4	804	326
11年目	H 44	0.98895	1.00069	0.99287	0.3901	100.0	381	74	288	743	290	21	3	23	47	18	11	4	800	312
12年目	H 45	0.98882	1.00069	0.99281	0.3751	100.0	377	74	288	739	277	21	3	23	46	17	11	4	796	298
13年目	H 46	0.98870	1.00069	0.99276	0.3607	100.0	373	74	288	735	265	21	3	23	46	17	11	4	792	286
14年目	H 47	0.98857	1.00069	0.99271	0.3468	100.0	369	74	288	731	253	20	3	23	46	16	11	4	787	273
15年目	H 48	0.98844	1.00069	0.99266	0.3335	100.0	364	74	288	727	242	20	3	23	46	15	11	4	783	261
16年目	H 49	0.98830	1.00069	0.99260	0.3207	100.0	360	74	289	723	232	20	3	23	45	15	11	3	779	250
17年目	H 50	0.98816	1.00069	0.99255	0.3083	100.0	356	74	289	719	222	20	3	23	45	14	10	3	774	239
18年目	H 51	0.98802	1.00069	0.99249	0.2965	100.0	352	74	289	715	212	20	3	23	45	13	10	3	770	228
19年目	H 52	0.98788	1.00069	0.99243	0.2851	100.0	348	74	289	711	203	19	3	23	45	13	10	3	766	218
20年目	H 53	0.98773	1.00069	0.99238	0.2741	100.0	343	74	289	707	194	19	3	23	45	12	10	3	762	209
21年目	H 54	0.98757	1.00069	0.99232	0.2636	100.0	339	74	290	703	185	19	3	23	44	12	10	3	757	200
22年目	H 55	0.98742	1.00069	0.99226	0.2534	100.0	335	74	290	699	177	19	3	23	44	11	10	3	753	191
23年目	H 56	0.98726	1.00069	0.99220	0.2437	100.0	331	74	290	695	169	18	3	23	44	11	10	2	749	183
24年目	H 57	0.98709	1.00068	0.99214	0.2343	100.0	326	74	290	691	162	18	3	23	44	10	10	2	745	174
25年目	H 58	0.98692	1.00068	0.99207	0.2253	100.0	322	74	290	687	155	18	3	23	44	10	10	2	740	167
26年目	H 59	0.98675	1.00068	0.99201	0.2166	100.0	318	74	291	683	148	18	3	23	43	9	10	2	736	159
27年目	H 60	0.98657	1.00068	0.99195	0.2083	100.0	314	74	291	679	141	17	3	23	43	9	10	2	732	152
28年目	H 61	0.98639	1.00068	0.99188	0.2003	100.0	310	75	291	675	135	17	3	23	43	9	10	2	728	146
29年目	H 62	-	-	-	0.1926	100.0	305	75	291	671	129	17	3	23	43	8	9	2	723	139
30年目	H 63	-	-	-	0.1852	100.0	301	75	291	667	124	17	3	23	42	8	9	2	719	133
31年目	H 64	-	-	-	0.1780	100.0	297	75	292	663	118	16	3	23	42	8	9	2	715	127
32年目	H 65	-	-	-	0.1712	100.0	293	75	292	659	113	16	3	23	42	7	9	2	711	122
33年目	H 66	-	-	-	0.1646	100.0	289	75	292	655	108	16	3	23	42	7	9	2	706	116
34年目	H 67	-	-	-	0.1583	100.0	284	75	292	651	103	16	3	23	42	7	9	1	702	111
35年目	H 68	-	-	-	0.1522	100.0	280	75	292	647	99	16	3	23	41	6	9	1	698	106
36年目	H 69	-	-	-	0.1463	100.0	276	75	293	644	94	15	3	23	41	6	9	1	694	101
37年目	H 70	-	-	-	0.1407	100.0	272	75	293	640	90	15	3	23	41	6	9	1	689	97
38年目	H 71	-	-	-	0.1353	100.0	267	75	293	636	86	15	3	23	41	6	9	1	685	93
39年目	H 72	-	-	-	0.1301	100.0	263	75	293	632	82	15	3	23	40	5	9	1	681	89
40年目	H 73	-	-	-	0.1251	100.0	259	75	293	628	79	14	3	23	40	5	9	1	677	85
41年目	H 74	-	-	-	0.1203	100.0	255	75	294	624	75	14	3	23	40	5	9	1	672	81
42年目	H 75	-	-	-	0.1157	100.0	251	75	294	620	72	14	3	23	40	5	8	1	668	77
43年目	H 76	-	-	-	0.1112	100.0	246	75	294	616	68	14	3	23	40	4	8	1	664	74
44年目	H 77	-	-	-	0.1069	100.0	242	75	294	612	65	13	3	23	39	4	8	1	660	71
45年目	H 78	-	-	-	0.1028	100.0	238	75	294	608	62	13	3	23	39	4	8	1	655	67
46年目	H 79	-	-	-	0.0989	100.0	234	75	295	604	60	13	3	23	39	4	8	1	651	64
47年目	H 80	-	-	-	0.0951	100.0	230	75	295	600	57	13	3	23	39	4	8	1	647	62
48年目	H 81	-	-	-	0.0914	100.0	225	76	295	596	54	13	3	23	39	4	8	1	642	59
49年目	H 82	-	-	-	0.0879	100.0	221	76	295	592	52	12	3	23	38	3	8	1	638	56
合計(H33~H82)							15,991	3,707	14,479	34,177	9,504	887	143	1,134	2,164	599	487	137	36,829	10,241

便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。